

集落復興支援事業 耻風地区

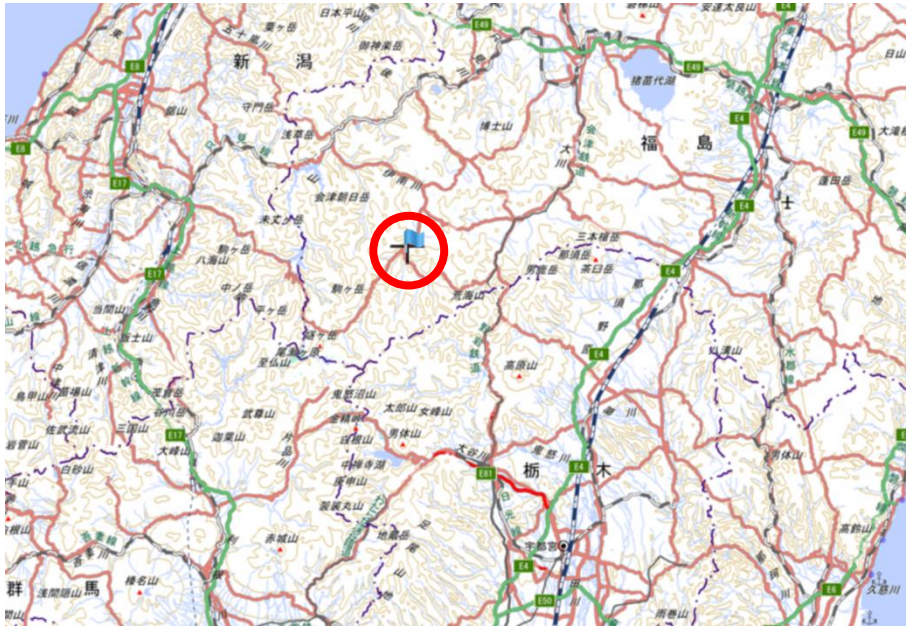
獨協大学 大竹チーム

代表 飯島

副代表 山田

吉澤、高村、西家、中里、小林、荒井、羽賀

耻風地区の概要



地理院地図

<https://maps.gsi.go.jp/#9/37.148277/139.504395/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0l0u0t0z0r0f0>

南会津町に位置する人口44人、18世帯の地区

高齢化率は38パーセント

国道352、401号に面している

会津田島駅より約40キロ。同駅より路線バスあり

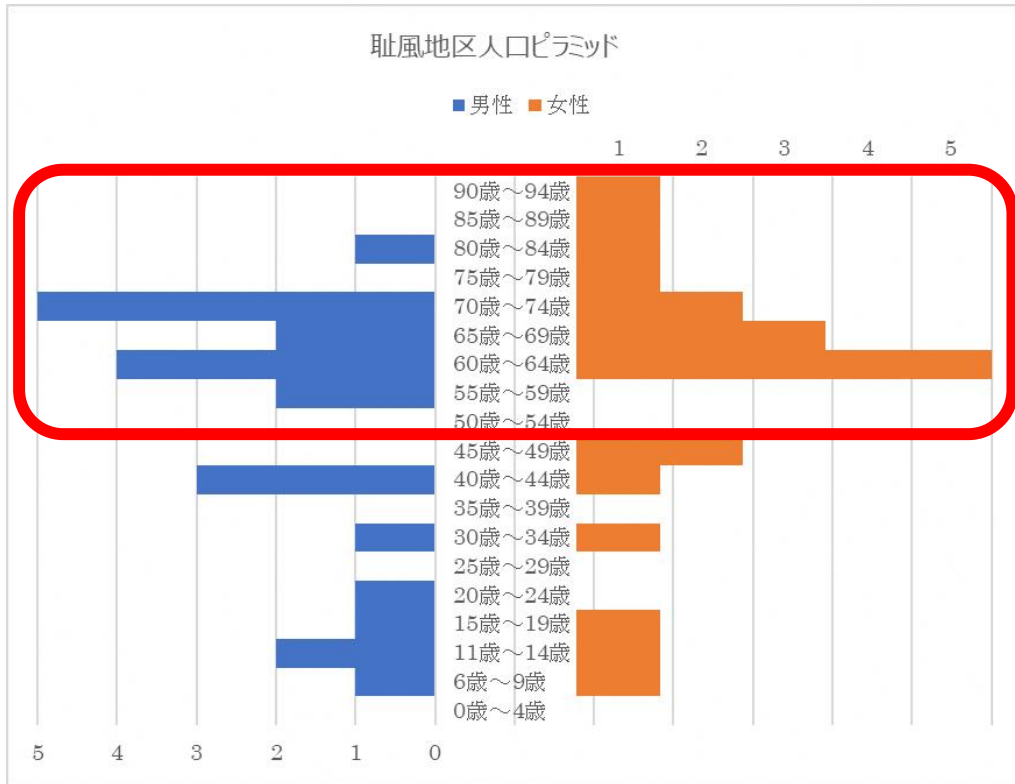
標高約630メートル

東西を山に囲まれた地形で南北に流れる館岩川沿いに集落が密集する

主な産業は農業。現在はそば、果樹、野菜の栽培が盛ん

稲作は行っていない

耻風地区の現状



平成28年度耻風地区の人口調査より作成

- 出生率の低下
- 高齢化率は38.64%と高い
→雪かきなどの負担の増加
→農作物の生産額の減少
- 進学や就職先が少ない
→10代後半から50代前半までの人口が少ない



地域調査から見えてきた耻風地区の現状②

- ・ 素敵な土蔵が多い（かつて行商人が利用したなごり）
- ・ 隣接する二本の国道は、有名な観光地である尾瀬へのアクセスとなっているが、観光客は素通り
- ・ きれいな蓮畑もあるが、管理維持の人員不足
- ・ ソバや南瓜の種・リンゴのオーブン焼きなど、商品化できそうなものがたくさんあるが、地域内での統一化やブランド化がなされていない



耻風地区の課題

地域内に外部からの新たな経済循環をもたらすことで、
地域内に若者が暮らせる基盤づくりを行うこと

具体例

- ① 分かりやすい特産品、ブランドづくり
- ② 都市部との交流による新しい経済基盤づくり
- ③ 使われていない蔵の活用
- ④ 観光資源のPR

提案① 恥風の特産品のブランド化

そば粉のパッケージ

- ・ シンプルで人目につきにくい
- ・ 恥風の地区の名前が入っていない

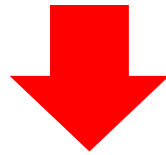


- ・ パッケージを独自の物に変え恥風をアピール
- ・ 恥風ブランドを作り地区のPR
- ・ ブランド化に伴う名称変更



提案②獨協大学と耻風地区の交流会

- ・ 獨協大学に耻風住民を呼び特産品を紹介
- ・ ソバ打ちの実演と実食
- ・ スキー場、耻風地区の旅館の紹介



期待できる効果

- ・ そばや山菜を若者が食べることによって新たなニーズを発掘
- ・ ゼミ、部活の合宿先として耻風地区と交流、経済効果
⇒若者は日本の伝統的な暮らしや食文化を再発見

SDGs活動の一環としても位置付けできる



獨協大学と地域住民の交流の様子

提案③蔵の活用

- 地区内には状態の良い蔵が複数ある
- 雪下ろし等管理が大変で取り壊しが検討されている
- 立地もロードサイドにあり観光者に目につきやすい
 - 蔵のある景観を耻風のトレードマークにする
 - 蔵をリノベーションし活用、管理する

提案③蔵の活用

- ・蔵のリノベーション例

→蔵カフェ・・・地区の特産品「そば」をメインにすえた飲食店
地区の特産品アピールにもつながる
近隣には類似のライバル店がない

→宿泊施設・・・一棟丸ごと貸切による宿泊施設
スタッフが常駐する必要がない
リノベーション例は多数ある

蔵カフェイメージ図



蔵カフェ中屋 <https://kuracafe.com/>

提案④観光マップに耻風の名前を載せる

パンフレット名	発行元	耻風記載
ようこそ！！会津高原2017年度	会津高原ふるさと推進協議会事務局	あり
南会津町2017	南会津町役場	なし
おいでよ！南会津。	福島県南会津地方振興局	なし
極上の会津	極上の会津プロジェクト協議会	なし
会津ねがいたび	極上の会津プロジェクト協議会	なし

提案④観光マップに耻風の名前を載せる

- ・ 耻風地区の観光資源の情報を載せる
→ 蓮畑、館岩川、野鳥
- ・ 宿泊施設である清水屋、ももたろうのサービスを載せる
→ 提供している料理、お土産屋、山菜取り体験
- ・ 耻風地区の特産品情報を載せる
→ 独自栽培のソバ

觀光資源



館岩川



ご清聴ありがとうございました

